

# 特定非営利活動法人 日本ノルディックフィットネス協会

## 第 4 回 総会議事録

1. 開催日時： 2012 年 8 月 26 日(日) 14:00-16:00
2. 開催場所： せんだいメディアテーク 7階スタジオシアター
3. 出席者数 379 名（本人出席 34 名 評決委任者 345 名 社員総数 935 名）  
定款第 27 条の規定による総会開会に必要な社員総数の 4 分の 1 の定足数を満たすことが確認された。
4. 議長並びに議事録署名人の選出  
三浦会長の挨拶に続き、議長の選出について、定款第 26 条により会長への議長一任について諮ったところ、会長により理事の小林将昭氏の指名があり、満場一致を以て小林将昭氏が選任された。  
続いて議長挨拶の後、議事録署名人の選定が行われた。議長からの選任として、戸袋勝行理事、藤田隆明理事の指名があり、会場に諮ったところ異議はなく両名が議事録署名人として選出された。
5. 議 事  
第 1 号議案 第 4 期 事業報告  
議長は、本議案について提案説明を求めた。海老名事務局長より第 4 期事業報告についての説明がなされた。  
本議案について出席会員より以下の質問があった。  
会員： AL、BI、BI スキルアップ講座の受講者数が第 3 期と第 4 期で同じであるが、偶然か。  
海老名事務局長： 集計ミスである。  
会員： 団体正会員の増減数があっていない。  
海老名事務局長： 団体正会員数は合っている。増減数の集計ミスである。  
議長： 以上のデータの記載ミスについては、会員の方には改めて修正した第 4 期事業報告書を送付する。  
  
以上の質疑応答の後、議場にてその承認を求めたところ、疑義がなかったため、第 1 号議案は承認可決された。

## 第2号議案 第4期 収支決算報告

議長は、本議案について提案説明を求めた。海老名事務局長より第4期収支計算書の報告が行われた。続いて吉村洋監事より監査報告が行われた。

本議案について出席会員より以下の質問があった。

会員：収支計算書は内税表記か？

事務局長：非課税であるもの以外は内税表記である。

会員：納めている消費税が多すぎるように見えるが、何年分かまとめたの消費税なのか。

平野税理士：本則課税であるので、単純に収入の5%といった金額にはならないが、きちんと計算しているので納付額に問題はない。

会員：NPO法人には法人税は課税されないのか。

平野税理士：NPO法人にも法人税はあるが、JNFAの事業内容は普及事業が主で収益事業ではないので課税対象にはならないと判断しているため、はじめから科目を載せていない。

以上の質疑応答の後、議場にてその承認を求めたところ、疑義がなかったため、第2号議案は承認可決された。

## 第3号議案 新役員選出

議長より、役員を選任について説明を求めた。三浦会長より役員候補案として、理事会において選出した新任候補者の紹介がなされた。

役員を選任について、その他に疑義はなかったため、会場に諮り、第3号議案について承認可決された。

その後、別室において新役員によって理事会を行い、会長、副会長、常任理事の予選を行った（別紙役員一覧の通り）。役員は議場へ戻り、議長より新会長、副会長、および常任理事の予選の結果について報告がなされた。

## 第4号議案 第5期 事業計画（案）

議長より、第4号議案について説明を求めた。海老名事務局長より、第5期事業計画（案）について説明がなされた。

本議案について出席会員より以下の意見、質問があった。

会員：昨年度の養成講座の計画数と比べ実施数が少なくなったことについて、震災以外の要因はないか。

事務局長：昨年度は講師となるMI、NCに健康上の理由で講座を担当出来なくなった方がいたために回数が減ったということがあった。なお今年度は養成校にもこれまでの実績を踏まえて、現実的な数を計画しているので、計画数にあった開講数を実施できるように考えている。

会員：同じ地域で同じ時期に同じ種類の養成講座が開講されるようなことが想定されるが、JNFA 事務局で調整することは検討しているか。

事務局長：JNFA 主催の講座については年間でスケジュールを立てているので、同じ地域で重ならないようにしている。ただし自治体などに開催を依頼されたなどのケースはすでに日程が決められた場合が多く、どうしても重なってしまう場合がある。

会員：JNFA 会報誌に JNFA 主催以外の養成講座を載せることはできないのか。また、INWA、JNFA 公認コースの基準について教えてほしい。

事務局長：今回の会報誌には、まず JNFA の年間スケジュールとして今年度の JNFA 主催の講座のみ掲載した。以降は養成校の開催のものも含め、掲載していきたい。

公認コースについては、基準などは JNFA ホームページへ掲載を始めた。資料についてもそちらからダウンロードできる。もしくは JNFA 事務局、環境整備部へ問い合わせいただきたい。

会員：各部会の部員の構成、選任方法について

事務局長：各部会は部長、副部長、部員で構成される。部長は理事の中から 1 名選任され、副部長は部長が選任する。部員は部長、副部長が学識・専門知識などを考慮して 3 名以上を選任する。任期は 2 年である。

各部員については、資格などに係らず普及のための熱意がある方を選任する。

会員：AI 養成講座をもっと開催して欲しい。また MI についても人員を増員してもらいたい、世代交代も含め MI の養成について計画があるか。

三浦会長：AI の役割や、養成については教育部で十分検討していきたい。MI についても INWA で養成していくものだが、JNFA としても新しい世代の方に入って頂きたいので、そのように INWA へ要望を伝えていきたい。

以上の質疑応答の後、議場にてその承認を求めたところ、疑義がなかったため、第 4 号議案は承認可決された。

#### 第 5 号議案 第 5 期 活動計画予算（案）

議長より、第 5 号議案について説明を求めた。海老名事務局長より、第 5 期活動計画予算（案）について説明がなされた。

本議案について出席会員より以下の意見、質問があった。

会員：予算書の様式について、前年との増減の対比が分かりやすいものにできないか。

平野税理士：NPO 法人では予算書は計算書類として作成する必要がないものなので、事務負担が大きくなるよう今回のような外部に発表する会計資料では、最低限の資料にとどめた。

会員：会員の会費の納入に未収が多いということについて、個人会員と団体会員の納入率はどちらが低いのか。

若い世代の会員を増やしていくというが、高齢者の健康増進、介護予防などの課題との連携はどう考えているのか。

事務局長：会費の未納で多いのは個人正会員だが、団体付け個人会員については団体会員のとりまとめによるので、年度の初めに一度に全員分の会費が納入できない。個人正会員については会費未納の理由で多いのは単純に忘れているというもの。現在会員で多いのは40代で、伸びているのは20~40代これは仕事としてNWの指導者資格を取る方が多いためだと思われる。若い世代を増やしていきたい、というのはフィンランドのコンセプトとして若い世代から健康づくりをしてもらいたいという考えからである。

竹田理事：今後、教育部としての展望としては「メディカルNW」という考えを教育部で進めていく。さまざまな疾患にNWが有効であるというエビデンスは得られているが、そのようなさまざまな対象に合わせたNWの指導法を体系的にまとめ、BI程度から盛り込んでいくように指導者の資質向上を目指していきたい。

以上の質疑応答の後、議場にてその承認を求めたところ、疑義がなかったため、第5号議案は承認可決された。

## 6. 報告

続いて、議長は事務局長に次第に沿って、報告事項の報告を求めた。会長より、以下の報告がなされた。

第1回 日本ノルディック・ウォーク学会学術大会および設立総会が11月10日（土）に鳥取県で開催されること、および8月23~25日に東海大学で開催された日本体育学会第63回大会のワークショップにおいて東海大学教員でJNFA会員のBIがNW体験プログラムを実施したことが三浦会長より報告された。

今後こういった学会などから情報収集し、会員への情報発信をしていくことが報告された。

## 7. 議長解任

以上をもって第4回総会の議案全ての審議を終了したので、議長は退任の挨拶を行い、司会者から総会の閉会が告げられ散会した。

8. 議事録記名押印

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に記名押印する。

平成 24 年 9 月 14 日

議 長

小林 将祐



議事録署名人

藤田 隆明



議事録署名人

戸袋 勝行



(別紙)

特定非営利活動法人 日本 ムルディックフィットネス協会 (JNFA)  
役員

会 長	三 浦 望 慶	上越教育大学名誉教授 医学博士 INWA 公認マスター インストラクター
副 会 長	永 富 良 一	東北大学大学院医工学系研究科 健康維持増進医工学 教授 医学博士
常任理事	藤 田 和 樹	大阪大学 大学教育実践センター 准教授 博士 (障害科学) INWA 公認ナショナルコーチ
常任理事	海老名 真綾	NPO 法人 日本 ムルディックフィットネス協会 事務局長 INWA 公認マスター インストラクター
常任理事	小 林 将 昭	元仙台ウェルネス・コンソーシアムプロジェクトマネージャー (2004-2006 年 NW の紹介とJNFA 設立準備に携わる)
理 事	竹 田 正 樹	同志社大学スポーツ健康科学部スポーツ健康科学科 教授 博士 (体育科学) INWA 公認ナショナルコーチ
理 事	藤 田 隆 明	NPO 法人 日本 ムルディックウォーキング学校 事務局長 INWA 公認ナショナルコーチ
理 事	橋 本 実	仙台大学体育学部健康福祉学科 教授 医学博士
理 事	戸 袋 勝 行	ムルディックウォーキング・オキナワ代表 JNFA 公認アドバンスインストラクター
理 事	舩 渡 忠 男	東北福祉大学 医療経営管理学科長 社会貢献センター 予防福祉健康増進推進室長 医学博士
監 事	吉 村 洋	(財) 仙台市産業振興事業団 理事 仙台フィンランド健康福祉センター 研究開発館副館長
監 事	清 水 信 市	元仙台市経済局次長 元(財) 仙台市産業振興事業団副理事長 元株式会社仙台ソフトウェアセンター 監事